

<塩分濃度差識別検査結果の研究利用へのご協力のお願い>

食物栄養学科1年次に実施した「汁物の塩分濃度差識別検査」の検査結果を統計解析し、授業効果を考察する研究を下記の通りに実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方でデータの利用を希望されない場合は、下記の研究責任者までお問い合わせください。

研究テーマ	栄養士養成課程における1年次の学習と塩分感受性に関する考察 —塩分濃度差識別検査結果からの検討—
研究責任者	本学 食物栄養学科 助手 水尾 和雅 (ミズオ カズマサ)
共同研究者	本学 食物栄養学科 教授 宮下 朋子 (ミヤシタ トモコ)
本研究の目的	食物栄養学科1年時の授業(調理学実習Ⅰ・Ⅱ)の一環として実施してきた「汁物の塩分濃度差識別検査」の6年間の結果を統計解析し、栄養士養成課程における授業を1年間経験することが及ぼす、学生の塩分濃度差識別能力や嗜好塩分濃度の変化について検討し、1年間の授業効果を考察することを目的とします。
研究の方法	<ul style="list-style-type: none">・対象は2014年～2020年(2018年を除く)の6年間において、会津大学短期大学部食物栄養学科1学年に在籍した学生(計238名)です。・対象となる学生が回答した汁物の塩分濃度差識別検査の結果を統計解析ソフトを用いて解析し、それらの変化および年次推移を考察することとします。
個人情報の取り扱い	研究に利用するのは回答結果のみとなります。 この統計解析において学生の個人情報が公になることは一切ございません。
研究期間	2021年8月25日 ～ 2021年12月31日 上記期間の終期を研究利用拒否受付の期限とさせていただきます。 連絡が無い場合はご同意いただいたものとして研究に利用させていただきます。 予めご了承ください。
お問い合わせ先	公立大学法人会津大学短期大学部 食物栄養学科 助手 水尾 和雅 (ミズオ カズマサ) TEL/FAX : 0242-37-2419